

idea

CONNECT × CONNECT

Twitter★http://twitter.com/#!/center_i

HP★<http://www.center-i.org>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

December

2013

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、
NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと
出合いの機会を創ります。

いちのせき市民活動センター

〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29 なのはなプラザ4F

TEL 0191-26-6400 FAX 0191-26-6415

Email center-i@tempo.ocn.ne.jp

Vol.09

せんまやサテライト

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町 149

TEL 0191-48-3735 FAX 0191-48-3736



志民のための成長戦略⑨

報告書作成と助成金申請のコツ

—平成24年12月12日(水)—

講師のいちのせき市民活動センター

副センター長 小野寺 浩樹



助成金を申請したいけど、
コツってあるの？規約や報告
書の上手な作り方は？という
地域の疑問に答え開催した
「報告書作成と助成金申請の
コツ」講座。誰にでもすぐ
実践できるコツを、事例を用
いながらわかりやすく紹介し
ました。

助成金とは

助成金とは、市民活動や地
域づくりを支援するために提
供されるお金ですが、お金を
出す団体に申請書を提出し、

審査が通らなければ受け取る
ことができません。実際の助
成金申請にはいくつかのポイント
があります。まずは応募
要項をよく読み、助成金を提
供する側の「目的・狙い」と、
審査基準を満たしているかの
確認を行うことが大事です。

助成金は「ただくれる」お金
ではないので、提供する側の
「何のために使ってほしいの
か」という想いを理解するこ
とが必要で、尚且つそれが自
分達の「こういう事業をした
い」という想いと噛み合っ
ていなければなりません。審査
では、申請された事業が「先
駆的」「効果がありそう」な内
容であることが評価に繋がる
傾向も見られます。小野寺さ
んは、「どんなに完璧な申請書
を書いて、倍率の高い審査
を通るとは限らない。その意
味では宝くじのようなものと
も言えるが、あきらめず『何
をしたのか』をわかりやす
く明確に示すことが大事」と
話します。

助成金の特徴

助成金の特徴は、①制約が
多く期間限定である、②報告
の義務があること等があげら
れます。

①の制約に関して、助成金
は事業計画に沿わないと使用
してはいけないことになって
います。さらに、人件費や弁
当代に使用できない「対象外
経費」が設けられている等、
全ての経費に助成金を充てら
れるわけではありません。ま
た、「1団体1回限り、一年限
り」といった、回数や期間に
制限のある助成金も多いため、
助成期間終了後に新たな事業
で助成が必要な場合は、再度
又は新たに申請を行う必要が
あります。

さらに、1つの事業に対し
複数の助成金を組み合わせ
て使用することはできません。
例えば、1つの事業の中で、
事務費はA団体からの助成金、
材料費はB財団からの助成金
を使うということはできない

のです。このような制約を把
握した上で、しっかりとした
助成金の収支計画を立てま
しょう。

次に②について、助成金を
受けた場合は事業実地後、事
業内容の振り返りと収支に
ついて報告する義務があり
ます。しかし、報告書は単に
義務としてではなく、活動の
透明性を示し、社会の信頼に
繋げる重要書類と考え、活動
写真や新聞記事を添える等
工夫します。実際に作成した
報告書の見本を見た参加者
からは「なるほど」「そうか
〜」と頷く様子がみられまし
た。

講座中、参加者から積極的
に質問を投げかける場面が
多々あり、助成金と報告書作
成について、もっと学びたい
という積極的な姿勢が感じ
られました。

今回の講座で得た知識を
持ち帰り、ぜひ普段の事業運
営に役立ててほしいと思っ
ます。

2 | 志民のための成長戦略⑨ 「報告書作成と助成金申請のコツ」

一関市内の NPO 法人
市内 31 法人が活動中です。

4 | 地域コミュニティの活動紹介 舞川第 5 区自治会

5 | 企業の地域づくり 株式会社 アーク

6 | 団体紹介 観光交流ネット千厩

7 | 歩が行く-スタッフの体験レポート- こどもふえすた

8 | 1月のイベント・ボランティア情報

- 1 藤沢町ボランティアセンター
 - 2 北上川流域河川生態系保全協会
 - 3 ケアセンターいこい
 - 4 須川の自然を考える会
 - 5 レスパイトハウス・ハンズ
 - 6 一関文化会議所
 - 7 一関ケアセンター
 - 8 ワークハウス雲
 - 9 里山自然学校 はずみの里
 - 10 全国地域学習振興会
 - 11 北上川サポート協会
 - 12 グリーンハート
 - 13 いわい地域支援センター
 - 14 アートで明るく生きるかわさき
 - 15 障害者への偏見と差別をなくす会
 - 16 サン.スマイル
 - 17 ねこの手クラブ
 - 18 いわてコミュニティファンド
 - 19 千厩まちかどケアセンター
 - 20 いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊
 - 21 いちのせき子育てネット
 - 22 響生
 - 23 わかば会
 - 24 防災サポートいちのせき
 - 25 とーばんふうどくらぶ
 - 26 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
 - 27 あゆみ
 - 28 子育て支援いっすね
 - 29 ファンスポルト一関
 - 30 北上川流域連携交流会
 - 31 グローバルヒューマン
- (認証順で掲載しています)

12月の表紙



この写真は、4～5年前に学びの土曜塾の子どもたちが、折り紙を切り貼りして作った作品で、現在は田河津公民館内に展示されています。背景が黒いのでカラフルな折り紙の色が引き立ち、とても綺麗ですね。

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、市民活動がアイデアを持ってNPOと行政や企業、市民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

舞川第5区自治会

～五区楽の里地域づくり～

自治会長 区長
岩渕 成男さん



地域

コミュニティの 活動紹介

山林に囲まれ自然が豊かな舞川第5区には、39戸、130名の住民が暮らしています。自治会長と区長を兼任しながら「五区楽の里地域づくり」を目指す岩渕さんに、地域への想いを伺いました。

活発な地域行事

舞川第5区自治会組織は12部会で構成され、各部会が年間の行事計画を元に行事を進めています。主な年間行事は、新年会から始まり多方面への研修視察、地域を綺麗にしたという思いから、沿道の草刈作業を年3回、体育協会主催のスポーツ大会や運動会への参加、夏にはお盆で帰省する方を迎え入れ、地域住民とバーベキューを兼ねた盆踊り大会、秋には文化祭、敬老会、世代間交流を開催。高齢化率37・7%で、地域には80歳以上の一人暮らしをしているお宅も3軒あります。そのため、毎月介護予防教室を開くほか、年末に一人暮らしをしている高齢者宅への慰問活動、敬老会では77歳以上の方を対象にお祝いするなど、高齢者への気配り心配りも大切にしています。

五区楽の里 コミュニティセンター

舞川5区では、昭和33年に岩手県農産漁村振興対策事業典型部落指定を受け、岩手県と一関市からも補助を受け、市内で第一号となる集会場を創設。その後、年月が経過するともに集会場は老朽化。平成13年に岩渕さんが区長に就任後、「地域の人が集い、活動できる広い場所をつくりたい」という思いで集会場を改築し、新たに出来た公民館を「五区楽の里コミュニティセンター」と命名。同センターは、建設以来地区内外からたくさんの方々が利用しており、取材中は大正琴の愛好会が別室を利用し、練習に励む様子を見学させて頂きました。様々な世代の女性が集り、笑顔で楽しそうに大正琴を演奏する姿を見て、「こうして住民が集い交流を深め、それを生活の励みにしてほしい」と岩渕さんは見守ります。

歴史がつまった地域便り

五区楽の里コミュニティセンターが造られ、地域活動がますます盛んになった頃、「地域の活動を広く発信すると共に、その内容を記事にしていつまでも残したい」という強い思いから、「五区楽便り」という地域広報誌を発行。これは、佐藤繁雄さんという住民が自主的に行ったもので、写真撮影や原稿作成までを全て一人で担当しました。これは、佐藤さんが亡くなるまで年に2回ずつ発行され続け、全39号ある五区楽便りは、今も貴重な地域の資料として各戸に配布されています。岩渕さんは、「これを読むと、第5区の昔から現在までの移り変わりがよくわかる。私が区長の役目を終えた後は、この五区楽便りを引き継ぎたい。」と話します。

「舞川第5区の強みは、他どの地域にも負けないくらい、住民の協力が非常に強いところなんです。」と岩渕さん。住民全体が地域づくりに積極的なこの地区で、これからも住民が元気に活動できるように環境作りを行いたいと語ってくれた岩渕さんの笑顔からは、地域の歴史を守る誇りと、強い愛情が伝わってきました。

企業の地域づくり

～いのちを生み出す農業を
地域と共に～

株式会社 アーク

(館ヶ森アーク牧場)

取締役会長 兼 牧場長

橋本 志津 さん



今回の企業の地域づくり取材は、地域食材の安心と安全を守り、希望を保持する農業をモットーに地域に根差した活動を行う、一関市藤沢町の株式会社 館ヶ森アーク牧場へお邪魔し、取締役会長兼牧場長の橋本さんにお話を伺いました。

食はいのち

〜守りたいもの〜

一関市藤沢町の吉高トンネルを抜けると、まるで北海道の大草原の様な

光景が目に見えます。夏は牧草が青々と茂り、色とりどりの花に心を癒され動物たちと触れ合うことができ、館ヶ森アーク牧場。冬は一面の雪景色で、幻想的な雰囲気をも感じています。今から40年前、埼玉で生まれ育った橋本ご夫婦は、ご主人が元々大きな農家をしてきたこともあり『有限会社 橋本ファーム』を設立。数頭の母豚から300頭まで増やすことに成功しました。夢を大きく拡大したいと考えていたご夫婦は、ご主人の恩師が藤沢町の出身であった事をご縁に、昭和51年に移住。「当時はね、まだ水道も電気もなく、地元の人も来たことがないんじゃないかってくらの山だったのよ。地域の方々からはなかなか受け入れてもらえなくてね、反対運動もあつたみたいよ。私たちが受け入れてもらえるきっかけになったのは子どもたちが先に地域に溶け込んだから。」と振り返る橋本さんの笑顔からは、母として、妻として、農家の嫁として鍛えてきた力強さと、大地のような心の広さが伺えます。

の使用や食品添加物の使用は良くないと感じていた橋本さんは、家族や従業員で囲む食卓の素材にこだわり自分が見つけられるものを使用。「見た目が悪くとも愛情を込めて育て安心して食べられるものを食べさせたい。それを皆で囲み食をいのちへとつなげる。」会社の経営理念の一つである『食はいのち』は母の愛と『食卓』から生まれたのです。

地元の農家と 循環型農業構築を目指す

館ヶ森アーク牧場では、4年前から地域農家・JAとの連携で荒れた休耕田の有効活用と、地域の農業を少しでも守りたいということから、地元契約農家と飼料米の生産・加工利用に取り組んでいます。生産された飼料米は放牧豚に給与し『大地の米豚』ブランドで拡販中。また、この飼料米を育成するにあたっては同牧場が出る豚や鳥の糞尿や館内レストランの生ゴミなどをリサイクルした栄養たっぷり堆肥を使用し、さらに同牧場内で生産している甘くて美味しい野菜を栽培する際にも使用しており『すべてのものを無駄にしない循環型農業』となつて地域資源の循環と共に、地域農業

の活性化にも貢献しています。

地域活性化のための

イベント開催

観光地として発展している館ヶ森アーク牧場周辺施設の8団体で結成されているエコール館ヶ森では、子どもからご年配まで楽しめるイベントをたくさん企画しています。さまざまなイベントは町内だけではなく、県外からの旅行者にも人気があり、地域活性化の一つとなっていますが、冬の集客にはいまひとつ。『雪は降るけど、北のようにたくさん積もるわけじゃないから雪まつりはできないしね…風はとっても強いのに…』という思いから発案された冬のイベント『館ヶ森風祭り』も来年で4回目を迎えます。手づくりで凧を制作し凧揚げ大会を行い、館ヶ森アーク牧場ならではのテナントが立ち並び、餅つき大会や雪上ジャンボかるた取りやそり滑りなど、冬の寒さも吹き飛ばせるイベントのようです。イベントは2013年1月27日(日)と2月3日(日)いずれも10時〜15時まで。総合のお問い合わせは0191-63-5100館ヶ森アーク牧場まで。

観光交流ネット千厩

団体紹介

～基本情報～

◆代表者名…永澤由利さん

◆事務所

〒029-0803 一関市千厩町千厩字北方 25

TEL : 0191-52-2054 FAX : 0191-52-2154

E-mail : nagasawakagu2054@soleil.ocn.ne.jp



永澤由利さん

知られていない観光資源を発掘し、 地域の魅力を広く発信していきます。

旧東磐井に残る金山跡

観光交流ネット千厩の代表者である永澤さんは、平成20年に岩手県のおもてなしマイスターに認定された後、観光交流人口の増加と地域の活性化を目的に「観光交流ネット千厩」を創設。14名の団体メンバーとともに、県内の観光ツアーの企画運営や、地域資源調査に関する活動を行っています。

「旧東磐井地域には、知られていない観光資源がたくさんあるはず」と話す永澤さんは、団体を立ち上げた平成22年から旧東磐井地域で金山跡や史跡の調査を開始。各地域に出向き聞き取り調査を行い、歴史的背景や文化を学び、その集大成として「いわいの里の金山跡」というパンフレットを完成させました。このパンフレットには、一関市と陸前高田市、気仙沼市にある11ヶ所の金山跡の場所が示されており、さらに、それぞれの

場所の写真と説明文が書かれているため誰でもわかりやすく情報を得ることができます。

参加して知る地域の魅力

このパンフレットは、駅や旅行窓口を始め、同団体が主催する観光ツアーでも配布され、多くの人に読まれ情報を伝えてきました。

今年開催したツアーには、県内各所から多くの参加者が集まり、東磐井地域の金山跡を永澤さんのガイドのもと巡り歩きました。「ただの山が、説明されると宝の山に見えてくるんです」と永澤さん。特に大東・東山・室根地域には金山跡があり、産金の道具や産金にまつわる地名等も多く残っていますが、あまり知られていないため、ツアー参加者からは「もっと多くの人に知ってもらいたい」等の感想が多く寄せられました。

移り住んだ方達を対象に、地域の病院やお店などを紹介して歩く「ふれあいまちあるき」を行いました。また、視覚障がい者を猊鼻溪に案内する際、「景色を言葉で表現して伝えたり、手触りで感じてもらうよう工夫しました」と語る言葉からは、参加者の立場に立った配慮がうかがえます。

これからも地域のために

永澤さんは「人に喜んでもらえれば、お互いに良かったと思うものです。これからもそんな良い機会を積み重ねていきたい。私は人によりよく暮らしてもらうために、少しでも手伝いができればと思います。」と笑顔で話してくれました。

私たちが生活している地域には、知られていないだけで、埋もれているたくさん観光資源があることを教えてくれた永澤さん。これからもより多くの人に、地域の魅力を発信し、観光する楽しさを伝える続けてほしいです。

今月の『歩が行く』は、なのはなプラザ4Fで12月15日に開催された「こどもふえすた」に潜入してきました。このイベントの主催は「いちのせき子どもフェスタ2012実行委員会」で、「子どももお母さん・お父さん、ボランティアや子育て支援をしている人も、みんなでクリスマスを楽しもう！」という目的で行われ、今年で3回目を迎えます。

今年は去年の2倍の1000人以上のお客さんが来場し、会場は、子どもやその家族の方々の笑顔で溢れ、クリスマスの音楽と共に子どもの歓声が響き、一気に賑やかなお祭りムードに。

実行委員長である千田さんは、「イベントを行う前は、まだ市民に馴染みの少ない『なのはなプラザ』の4階でやるということ、駐車場が用意できないし天気が悪かったので、人が集まるかとても心配でした。それでも、こんなにたくさんの人が来てくれて嬉しい！次回に向け、パワーの源になります。」と話します。

会場には、みんなで紙芝居や絵本を楽しむ「読み聞かせコーナー」や、使わなくなった子供用の服を無償でもらえる「おさがりひろば」、手作りのエコバックやおもちゃを作る「ものづくりコーナー」、お菓子などが釣れる「魚釣りコーナー」等、子ども



もが夢中になれる遊びや催し物を多く設置。子ども達の愛らしい笑顔に、それを見ている私達も思わず笑顔になります。

イベント1番の目玉である大抽選会では50名の方に賞品が当たり、賞品を受け取った子どもは「やったー!!」と喜ぶ様子が見られました。当選したおもちややお菓子を抱え嬉しそうに帰る後ろ姿を見ると、「一関市内で暮らす親子が楽しんでもらえるようなイベントや活動によって、地域を越えた親子が交流できる機会が増えたらいいな」と、私も子どものいる母として感じました。

同イベントは、毎年クリスマスシーズンに行い、来年も同じ時期に開催を予定しています。

一関市の未来を担う子供達みんなが幸せになれるように、私達大人がこれからずっと成長を見守り続けたいと思います。

今年は、一関市内のさまざまなイベントに潜入し取材してきました。たくさん笑顔に出会い、たくさんのお気づきや学びを得ることができ良き体験でした。来年もどうぞよろしくお祈りします。



イベント・ボランティア情報



いちのせき市民活動センターでは、一関市内で活動する市民活動団体や企業で行うイベントの情報やボランティア募集の情報をお待ちしております。

TEL0191-26-6400 FAX0191-26-6415 ✉center-i@tempo.ocn.ne.jp



PRAY FOR JAPAN

ドキュメンタリー映画「Pray for Japan～心をつなぐ～（文部科学省推薦）」は家族・ボランティア・避難所・学校の4つの視点から震災の悲劇を追います。それぞれ、震災で何かしらの被害を受けた人々の物語があり、彼らが悲劇と戦い、打ち勝つ為に前向きに生きる様子が描かれています。

日時：平成25年1月19日（土）
10時～12時

場所：一関市社会福祉協議会
3階 大会議室

料金：入場無料

担当：いちのせき市民活動センター
まちづくりNPOげんき宮城研究所



ロープワーク講習会

NPO法人北上川サポート協会では、日常生活、災害現場などで使える、簡単なロープの結び方を学ぶ講習会を開催します。年齢は問いません、誰でも参加できます。

日時：平成25年1月27日（日）
9時～11時

場所：川崎防災センター
講師：金野 和則さん

料金：無料

定員：30名（年齢問いません）

締切：1月25日（金）

申込：NPO法人北上川サポート協会
電話：0191-36-5666



第4回館ヶ森風祭り①

館ヶ森アーク牧場では、～元気な子供たち集まれ！館ヶ森の広い高原で風を感じて元気に遊ぼう！～をテーマにお祭りを開催します。当たり串入りのかほう団子のお振舞もあります。

日時：平成25年1月27日（日）
10時～15時

場所：館ヶ森高原ホテル
内容：手作り凧制作
参加費：1人800円（温泉入浴券付）
定員：20名／要予約
問い合わせ：館ヶ森アーク牧場
電話：0191-63-5100



第4回館ヶ森風祭り②

館ヶ森アーク牧場では、～元気な子供たち集まれ！館ヶ森の広い高原で風を感じて元気に遊ぼう！～をテーマにお祭りを開催します。雪上ジャンボかるた取り大会で思いっきり遊びましょう！

日時：平成25年1月27日（日）
10時～15時

場所：館ヶ森アーク牧場
内容：凧揚げ大会、豚まん作り教室、雪上ジャンボかるた取り大会、餅つきお振る舞い、凧揚げ大会、ハープで簡単ハンドバス体験等

問い合わせ：館ヶ森アーク牧場
電話：0191-63-5100



おしゃべりしませんか！

もりおか・いわて若者サポートステーションでは、15歳～概40歳の仕事に就いていない方（学校を休学中の方も対象となります）を対象に、相談会を開きます。

もりサポのスタッフや参加者と交流してみませんか？お気軽にお越しください。

日時：平成25年1月28日（月）
10時～15時

場所：なのはなプラザ4階
（いちのせき市民活動センター）

電話：019-625-8460
担当：佐藤



音楽療法で交流

NPO法人アートで明るく生きるかわさきは、しょうがいのある方の仲間づくりや、地域住民との交流、楽しい時間を過ごしリフレッシュすることを目的に、歌や楽器、ゲームに挑戦する「音楽療法で交流」を開催します。

日時：平成25年1月30日（水）
10時～11時30分

場所：川崎公民館和室または音楽研修室
講師：杉山 ふみさん（音楽療法士）
電話：0191-43-4733
担当：木村



新年 あけまして おめでとうございます！

2012年は、大変お世話になりました。あっという間に一年が過ぎ、また新たな年が始まります。去年は、市民フェスタやワークショップフォーラムなど、慌ただしく活動してきましたが、今年も、いちのせき市民活動センタースタッフ一同、さらに地域づくりに力を入れて頑張っていきますので、1年間どうぞよろしくお祈りします。皆さまにとって今年一年が、よい年になりますように。

